



越冬期における 海ワシ類の動態

中川 元

北海道で越冬する海ワシ類-1

- オオワシ

総個体数 5,000～7,000羽

環境省レッドリスト 絶滅危惧II類(VU)

IUCNレッドリスト 危急(VU)

国内希少野生動植物種

国の天然記念物



北海道で越冬する海ワシ類-2

- オジロワシ

総個体数 20,000～40,000個体？

*ロシアの生息数不明

環境省レッドリスト 絶滅危惧II類(VU)

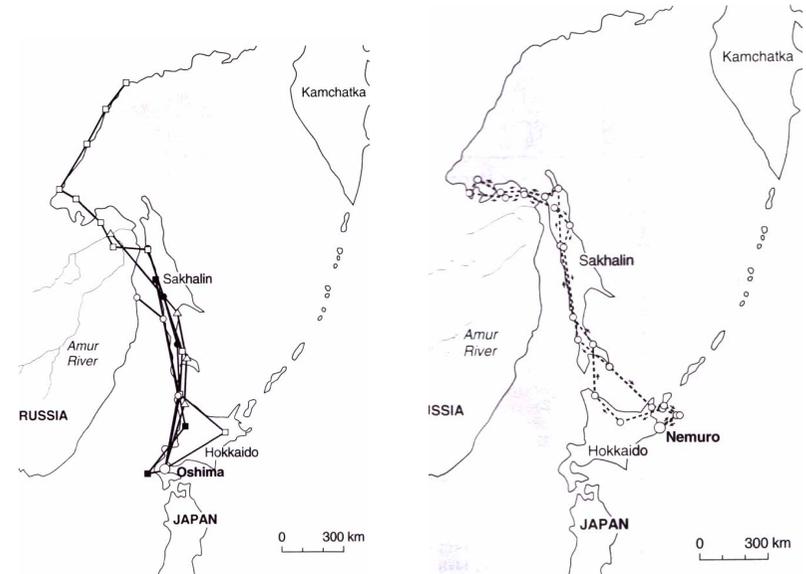
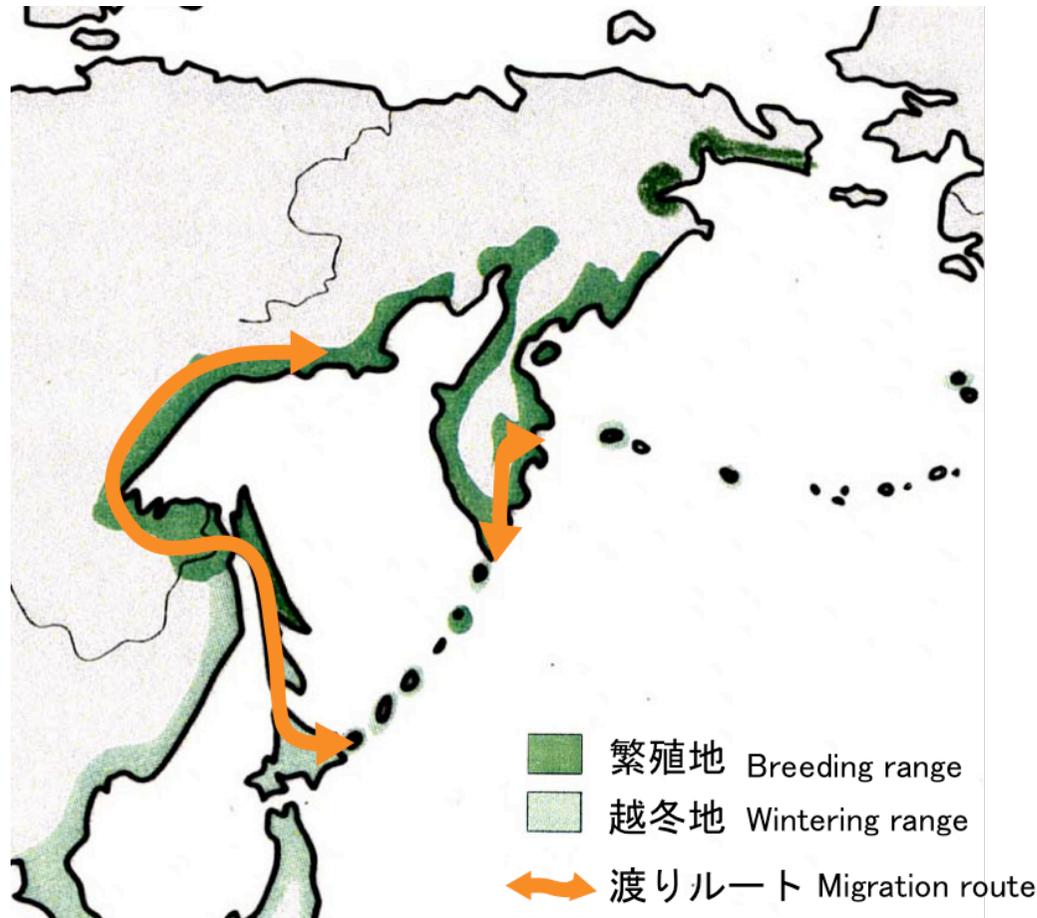
IUCNレッドリスト 低懸念(LC)

国内希少野生動植物種

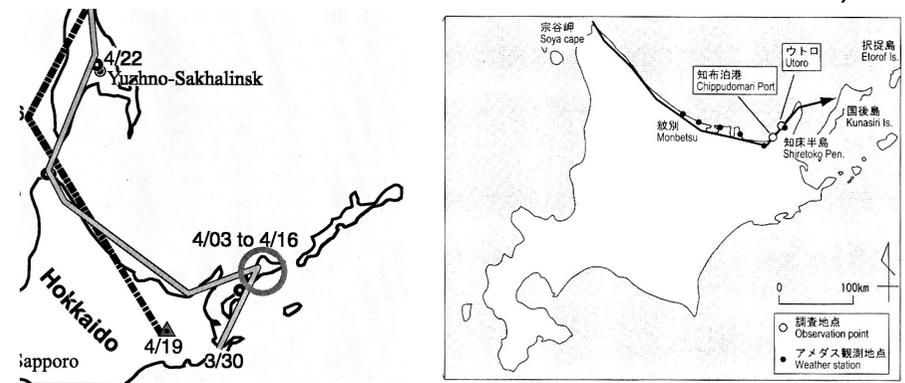
国の天然記念物



オオワシの繁殖地と越冬地・渡り

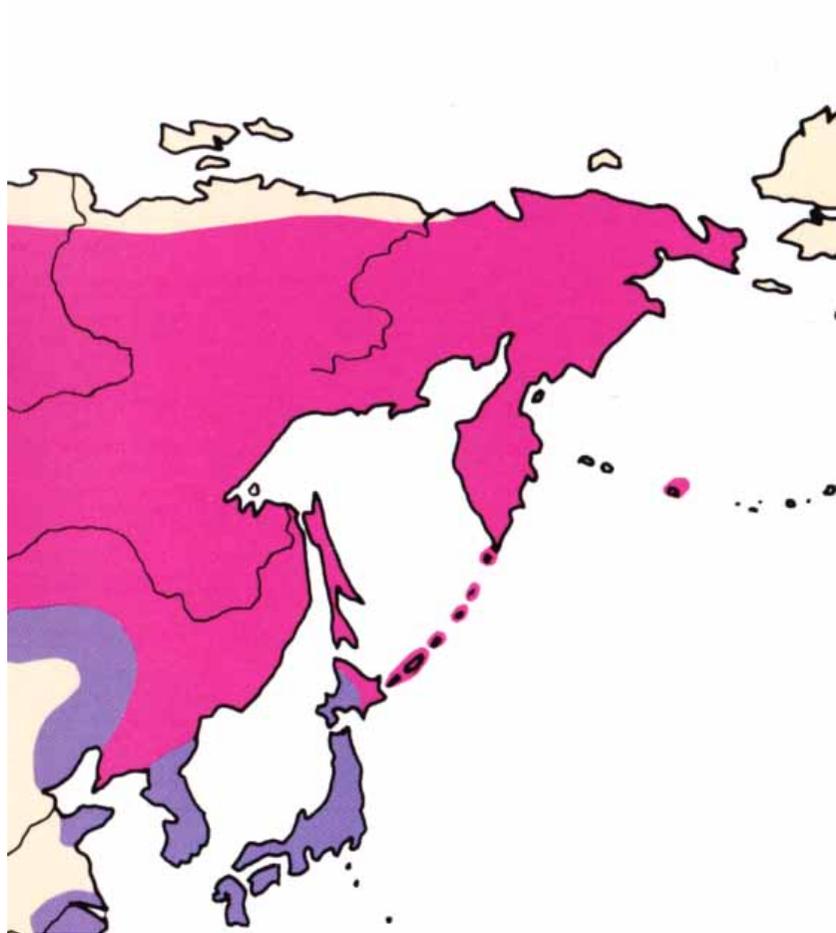


衛星追跡によるロシアからの渡り
(Ueta et al 2000)

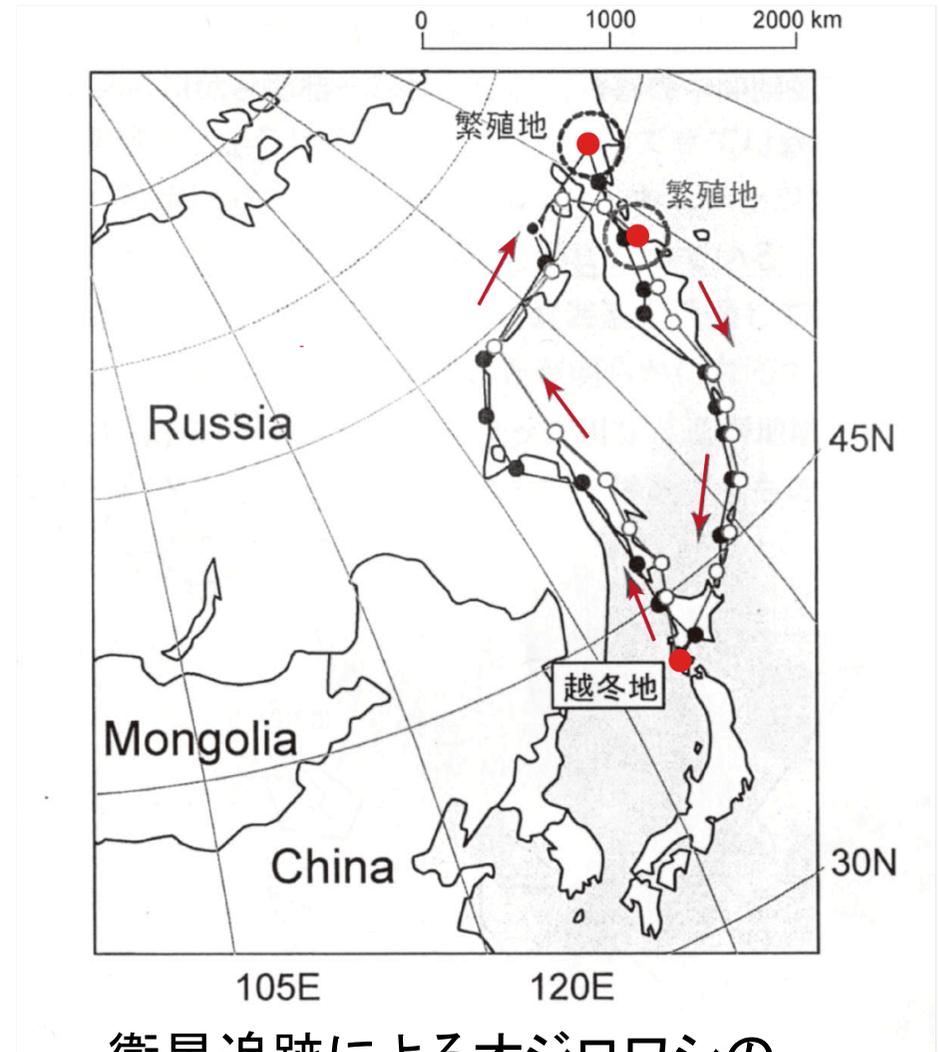


北海道と北方四島間の往来
(McGrady et al, 2003 : 植田他2004)

オジロワシの繁殖地と越冬地・渡り

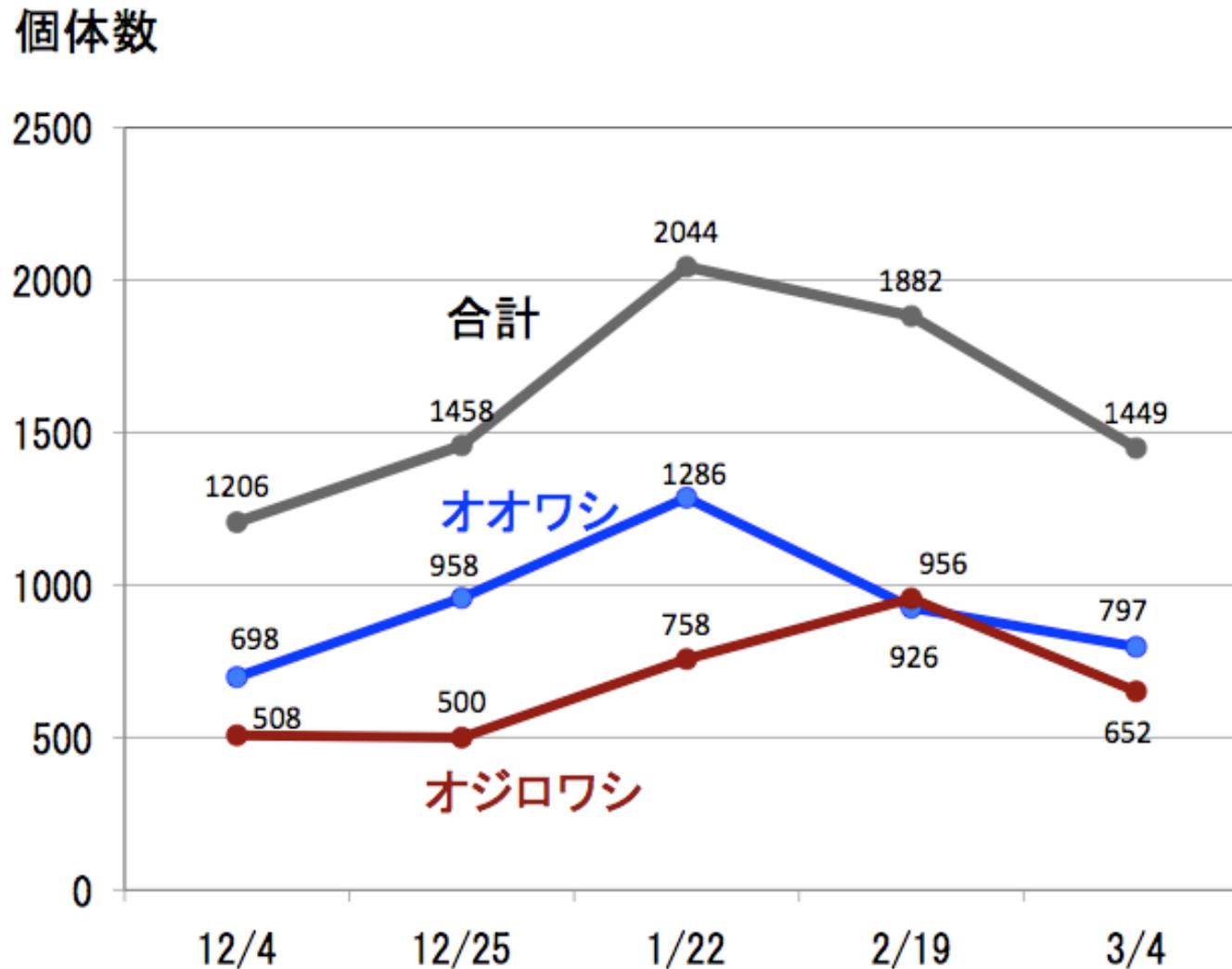


- 繁殖地 (周年生息地域を含む)
- 越冬地



衛星追跡によるオジロワシの
渡り調査結果 (Ueta et al 1998)

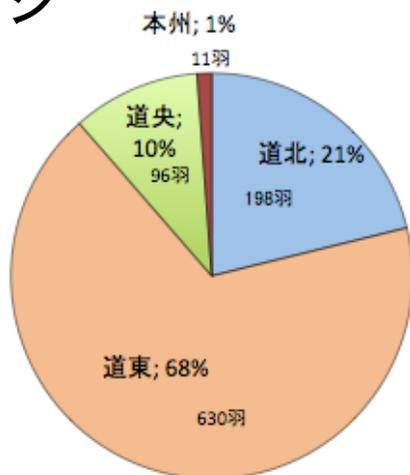
北海道で越冬する海ワシ類個体数



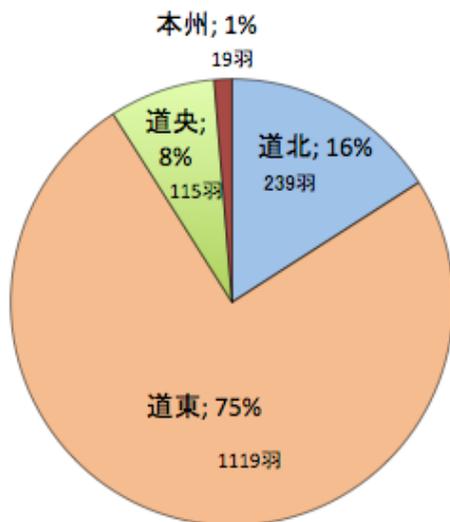
平成23年度オオワシ・オジロワシ越冬個体数調査結果より

ワシ類の越冬分布(2月) (オオワシ・オジロワシ一斉調査結果より)

オオワシ

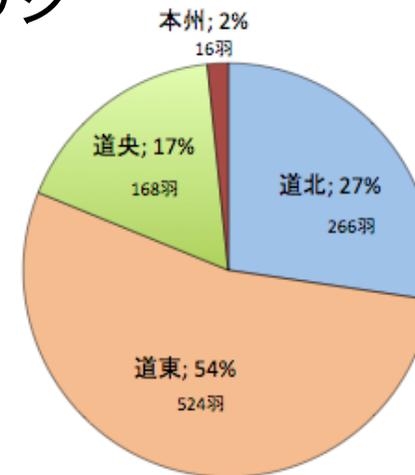


2012年2月19日

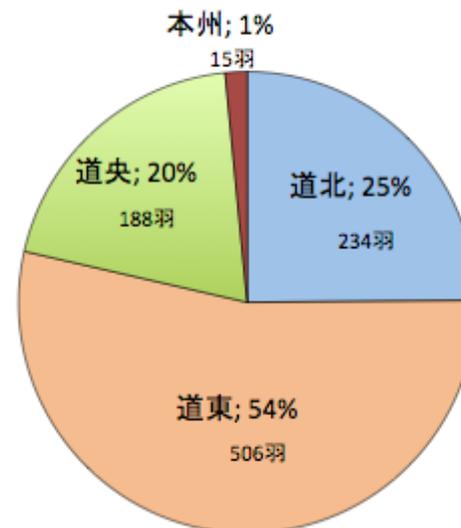


2011年2月20日

オジロワシ

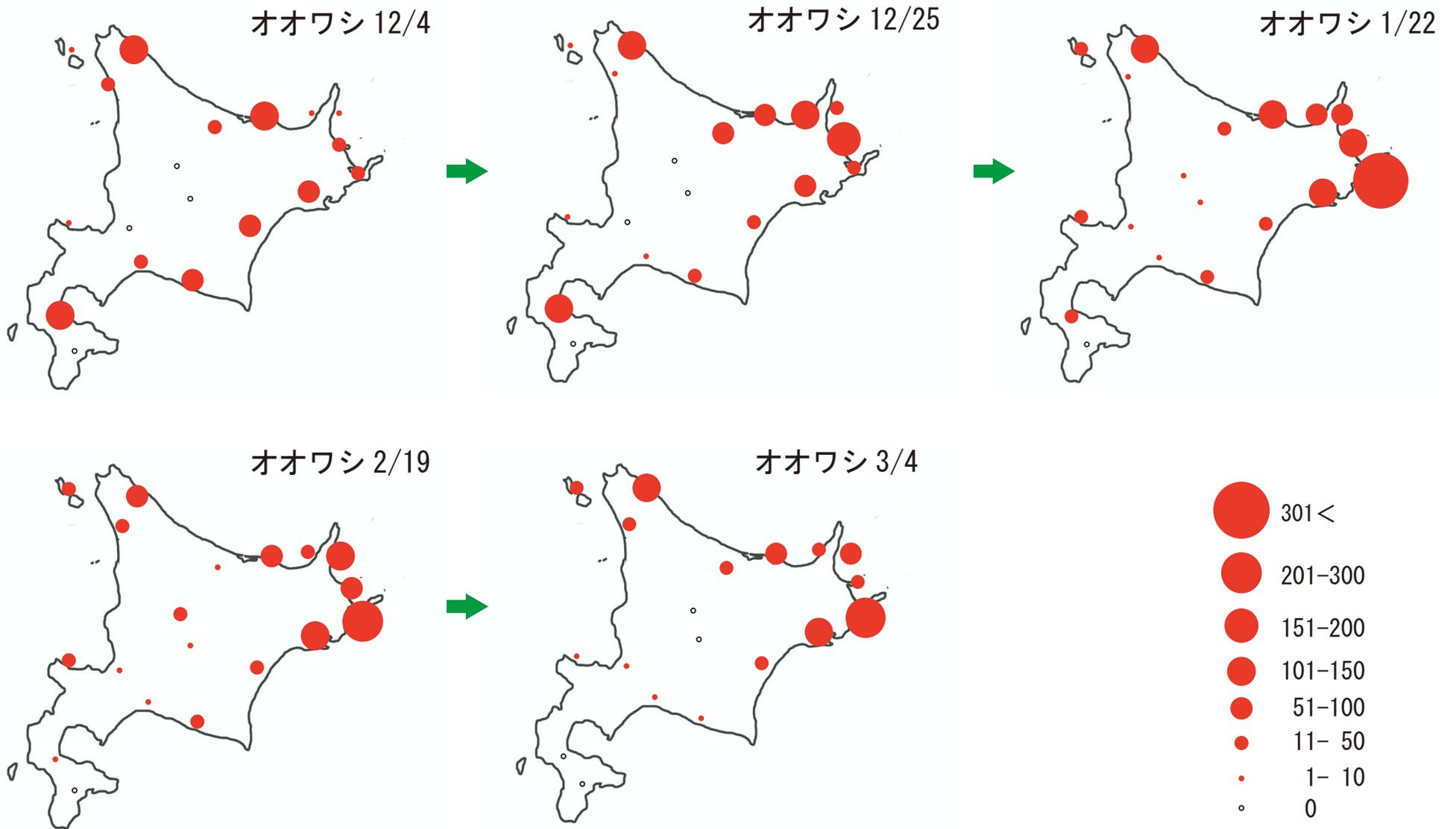


2012年2月19日



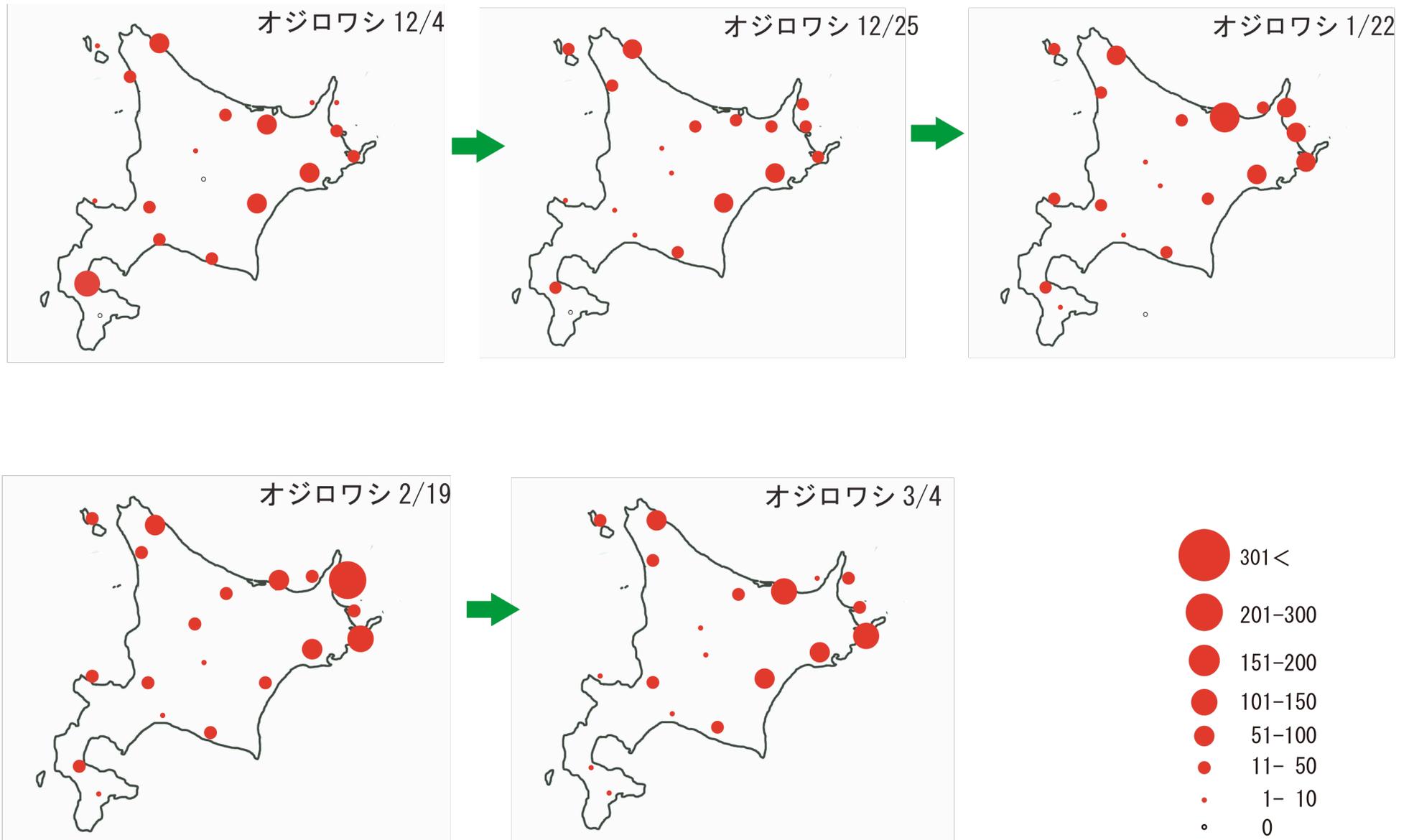
2011年2月20日

オオワシ越冬分布の季節変化



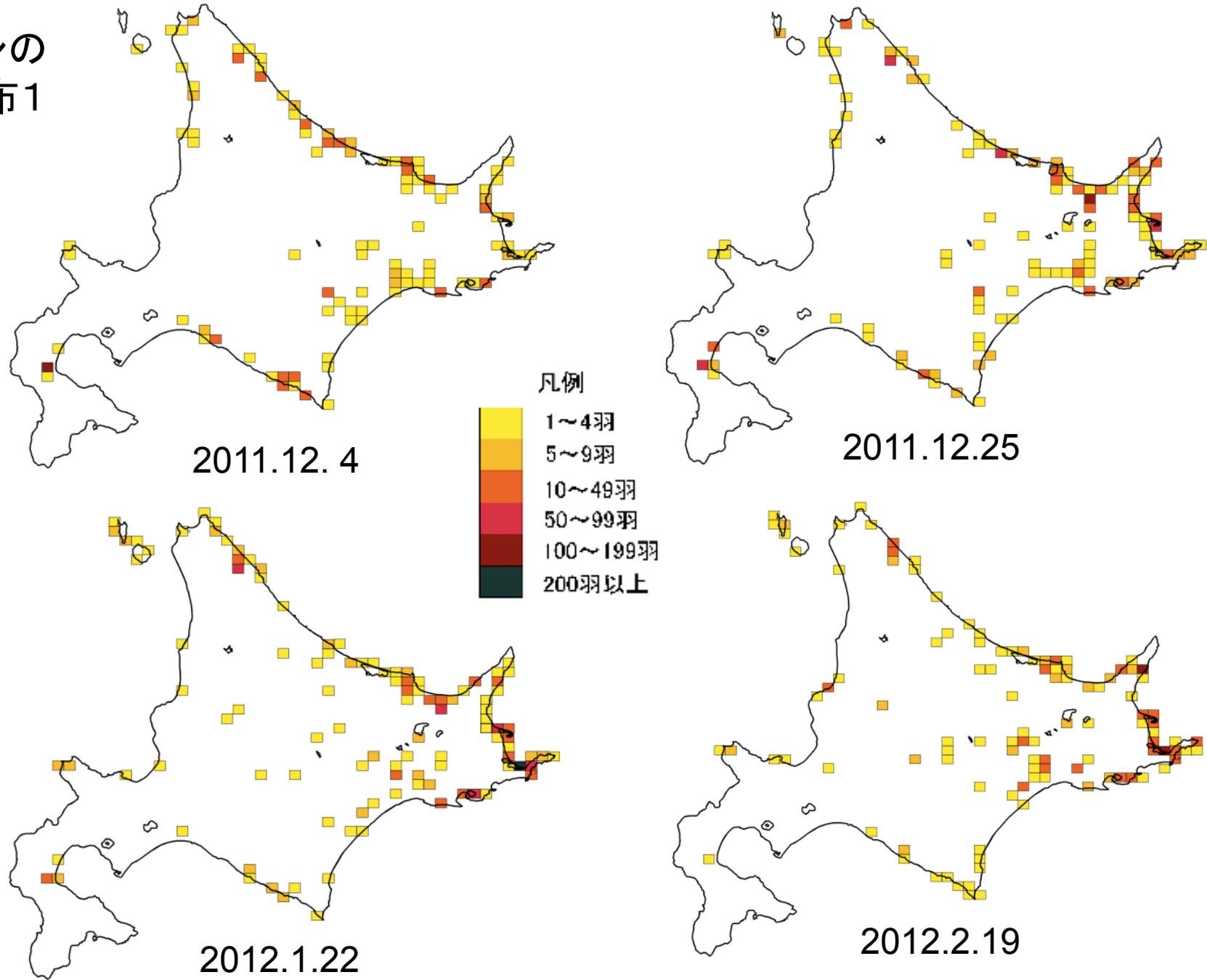
平成23年度オオワシ・オジロワシ越冬個体数調査結果をもとに作成

オジロワシ越冬分布の季節変化

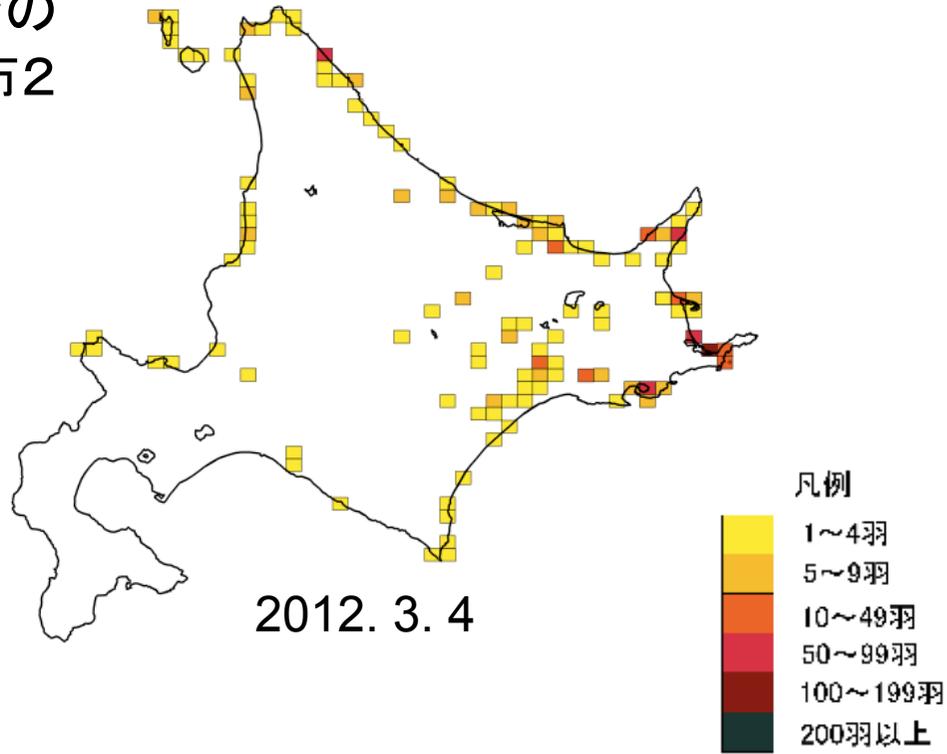


平成23年度オオワシ・オジロワシ越冬個体数調査結果をもとに作成

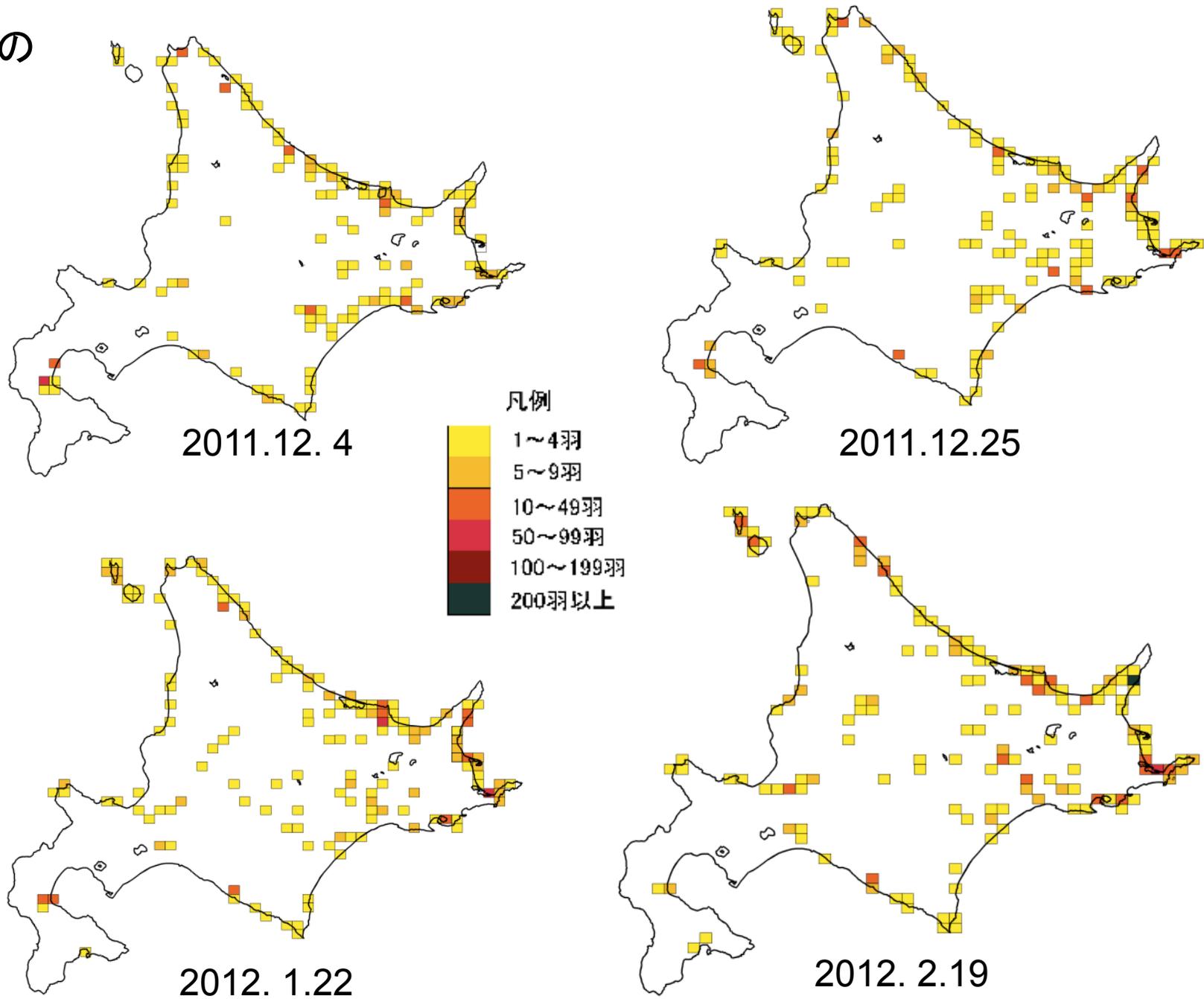
オオワシの 越冬分布1



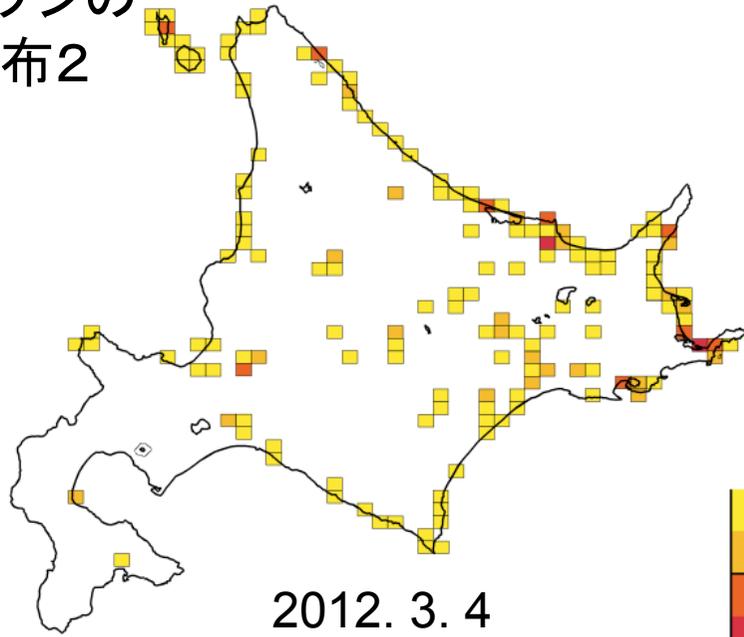
オオワシの 越冬分布2



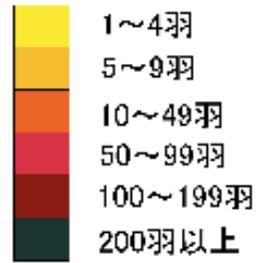
オジロワシの 越冬分布1



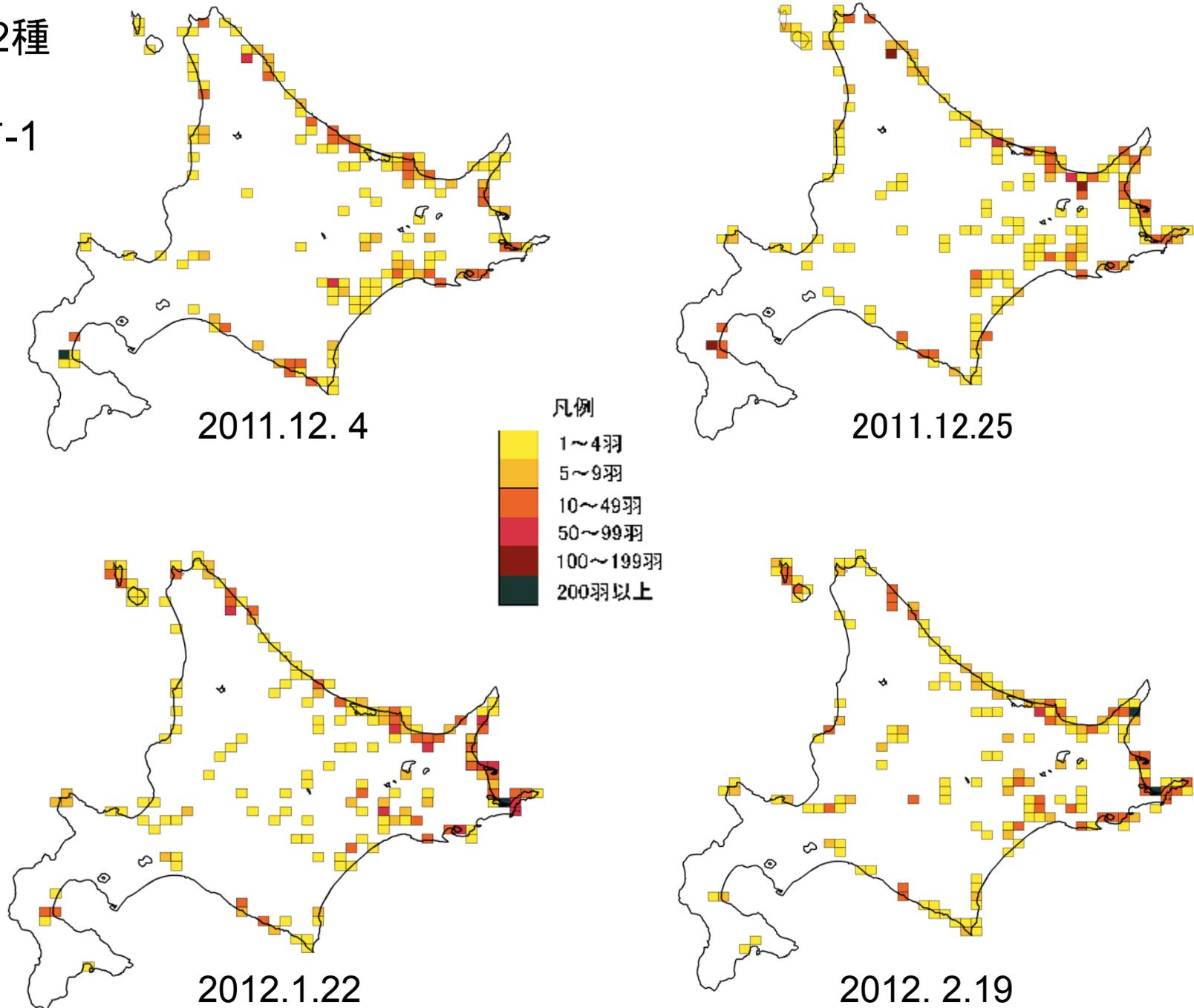
オジロワシの 越冬分布2



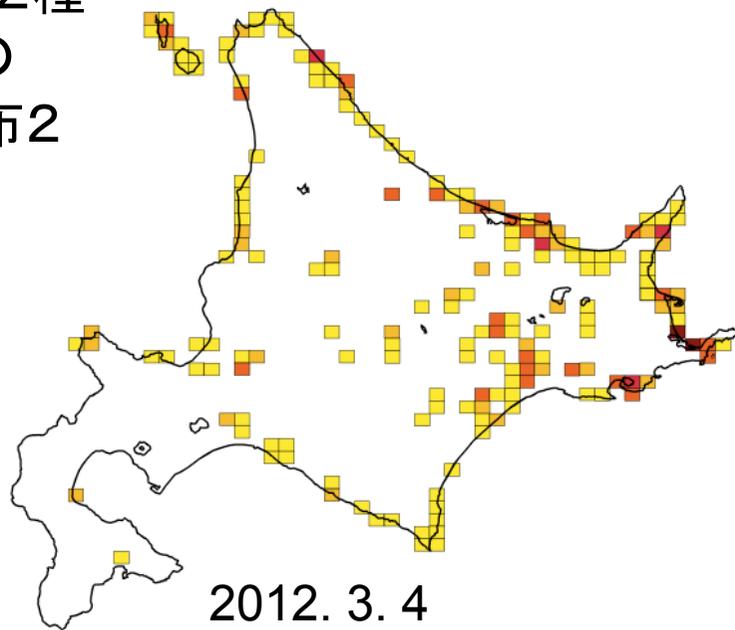
凡例



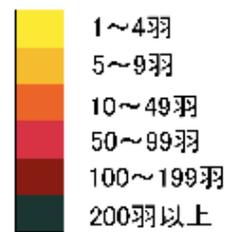
海ワシ類2種
合計の
越冬分布-1



海ワシ類2種
合計の
越冬分布2



凡例



海ワシ類の越冬生態(餌資源)-1

自然餌資源

- 1 サケ遡上河川の流域・河口部でサケの死体を餌にする(～1月)
- 2 海岸で漂着物(魚類、鰭脚類、クジラ類)を餌にする(～1月)
- 3 河川・湖沼・沿岸海域の魚類・水禽類
- 4 流氷上の海獣類やその死体



サケ遡上河川に集まる海ワシ



魚の打ちあがった海岸の海ワシ

海ワシ類の越冬生態(餌資源)-2

人為的餌資源

- 1 漁業活動から供給される雑魚など(氷下待網漁・刺し網漁)
- 2 漁港や加工場周辺の落ち魚や漁業廃棄物、廃棄物処理場周辺の餌
- 3 狩猟エゾシカの放置死体や解体残滓、エゾシカ列車事故死体
- 4 観光船からの給餌

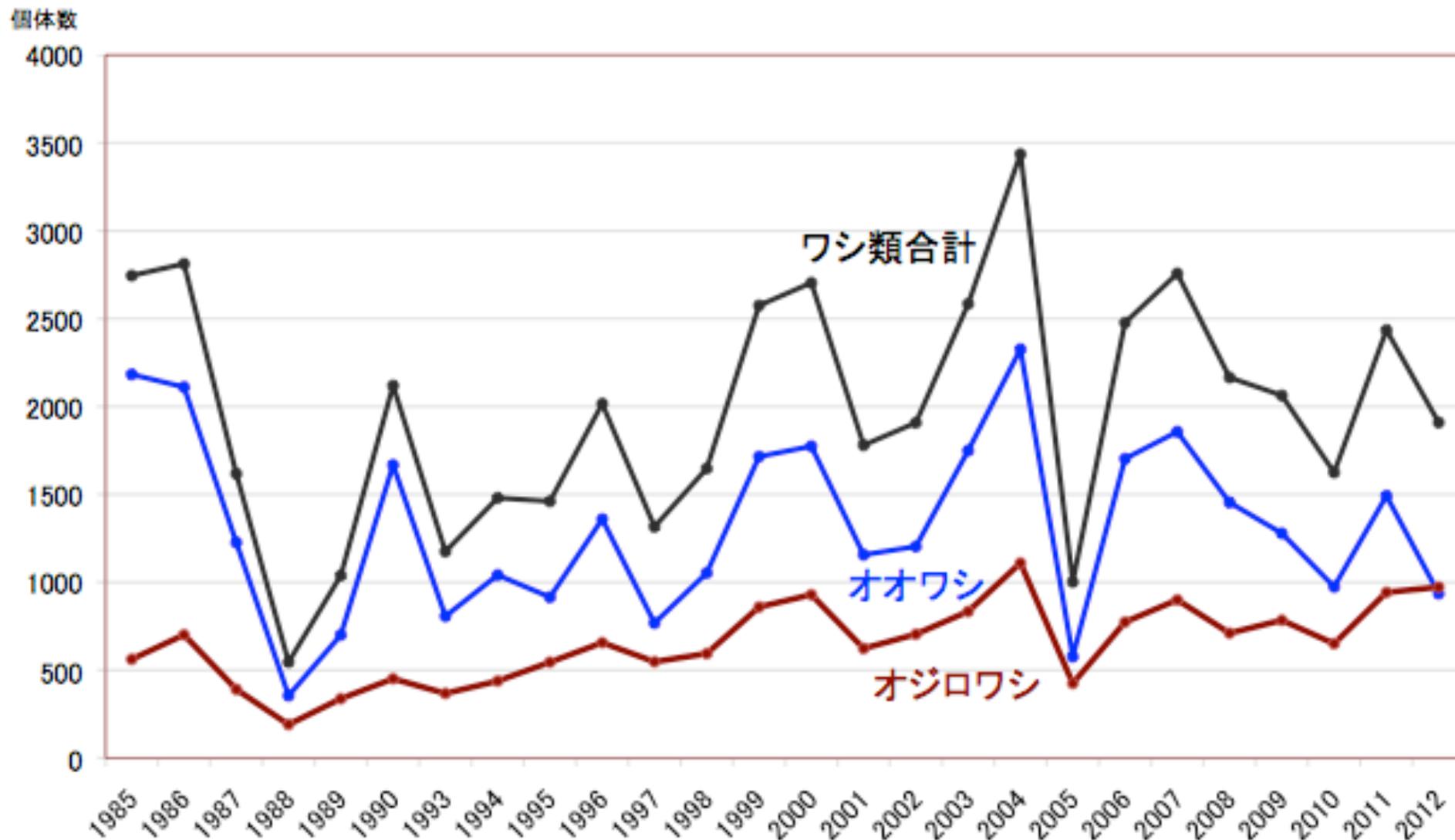


氷下待網漁の周りに集まるワシ類



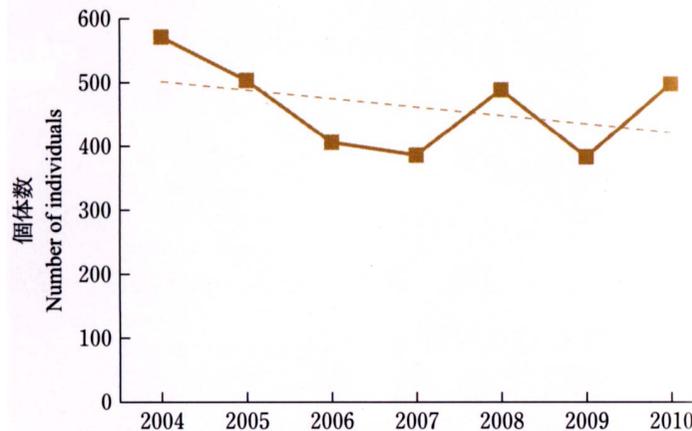
観光船の給餌に集まるワシ類

越冬個体数の推移



オオワシ・オジロワシー齊調査の年別記録個体数変化

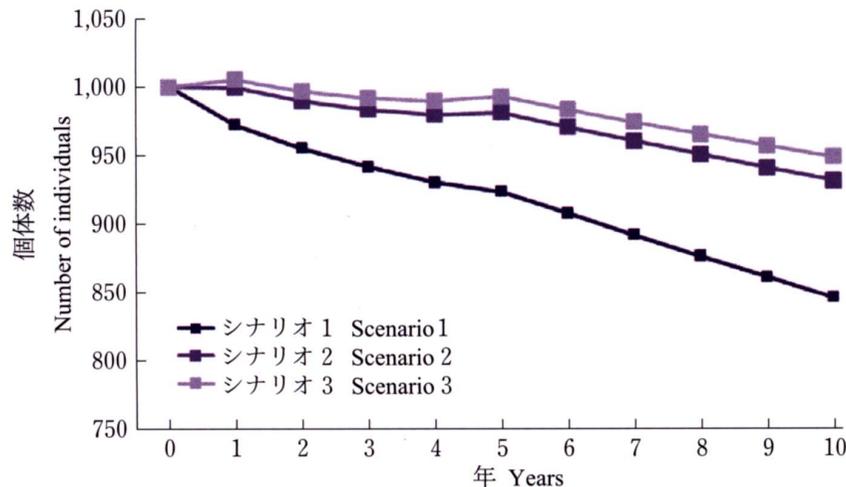
オオワシ繁殖地の状況(サハリン北部)



[減少要因]

石油・天然ガス開発による生息地減少
山火事による生息地消失
ヒグマによるヒナの捕食、巣の破壊

サハリン北部のオオワシ個体数推移



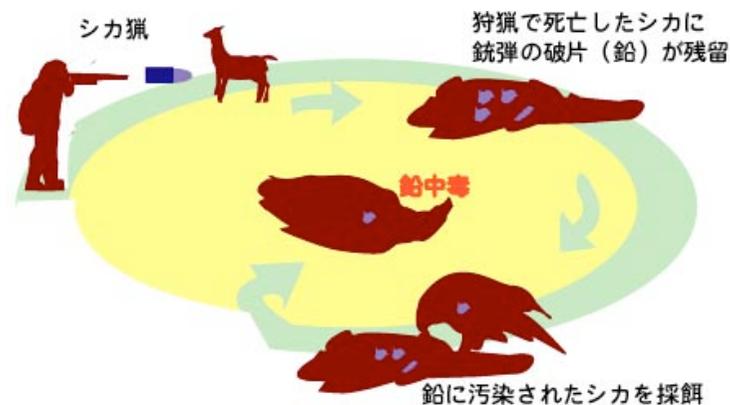
シナリオ1 年成長率マイナス1.7%
シナリオ2 年成長率マイナス0.9%
(ヒグマ補食無しと仮定)
シナリオ3 年成長率マイナス0.8%
(全ての成熟個体が繁殖に参加と仮定)

個体群動態のシュミレーション

マステロフ 2013: サハリン北部のオオワシ個体群の現状と開発地域における保全の展望より
(桜井・大島・大泰司編著「オホーツクの生態系とその保全」.北海道大学出版会)

越冬地における生息を脅かす要因

1 無くない鉛中毒



2 交通事故 列車事故



3 感電事故



4 風車への バードストライク